

関西安全・安心を支える科学技術推進会議

暮らしの安全安心研究会
(平成21年度)
ご案内

平成21年5月

財団法人 大阪科学技術センター

暮らしの安全安心研究会

【趣 旨】

一人暮らしの高齢者の増加による生活や健康への不安、通学途上の子供に対する誘拐等の犯罪の増加などにより、日常の「暮らし」における安心安全をいかに確保するかが大きな関心事の一つとなっており、国においても第3期科学技術基本計画で、世界一安全な国・日本を実現し、国民生活に安心と活力を提供するとの政策目標を掲げ、研究開発強化への取り組みが始まっている。

安全・安心な生活のためには、家庭内、街角、介護施設等での、カメラ、センサ等による見守りシステムの研究開発だけでなく、それを使う人間に起因する社会的側面も重要である。また、地震などの災害、高齢者の支援、子供に対する見守りなどを考える場合、安心安全を確保しなければならない対象は、ある程度の広さを持った地域、すなわちコミュニティであると考えられる。

本研究会では、コミュニティの活動をどんな形で情報技術が支援できるのかという問題を情報の技術者だけでなく社会学の研究者を交えて議論する。具体的には「暮らし」における人間活動を安心安全の側面からどう支援するかという視点から、カメラ、センサ等による情報基盤のあり方と、見守りサービス、危機管理サービス等についてサービスサイエンスとの関連も考慮しながらシステム構築を行う技術、方法論等について調査・研究を行う。

【研究概要】

暮らしにおける安全と安心を実現するために、コミュニティの活動を支援する情報システム及び情報サービスについて、必要となる技術・課題及び、実用化に資する技術シーズに関連した情報提供・交換活動を行って参ります。加えて、会員の皆様のニーズを随時反映させ、積極的な支援活動を展開いたします。

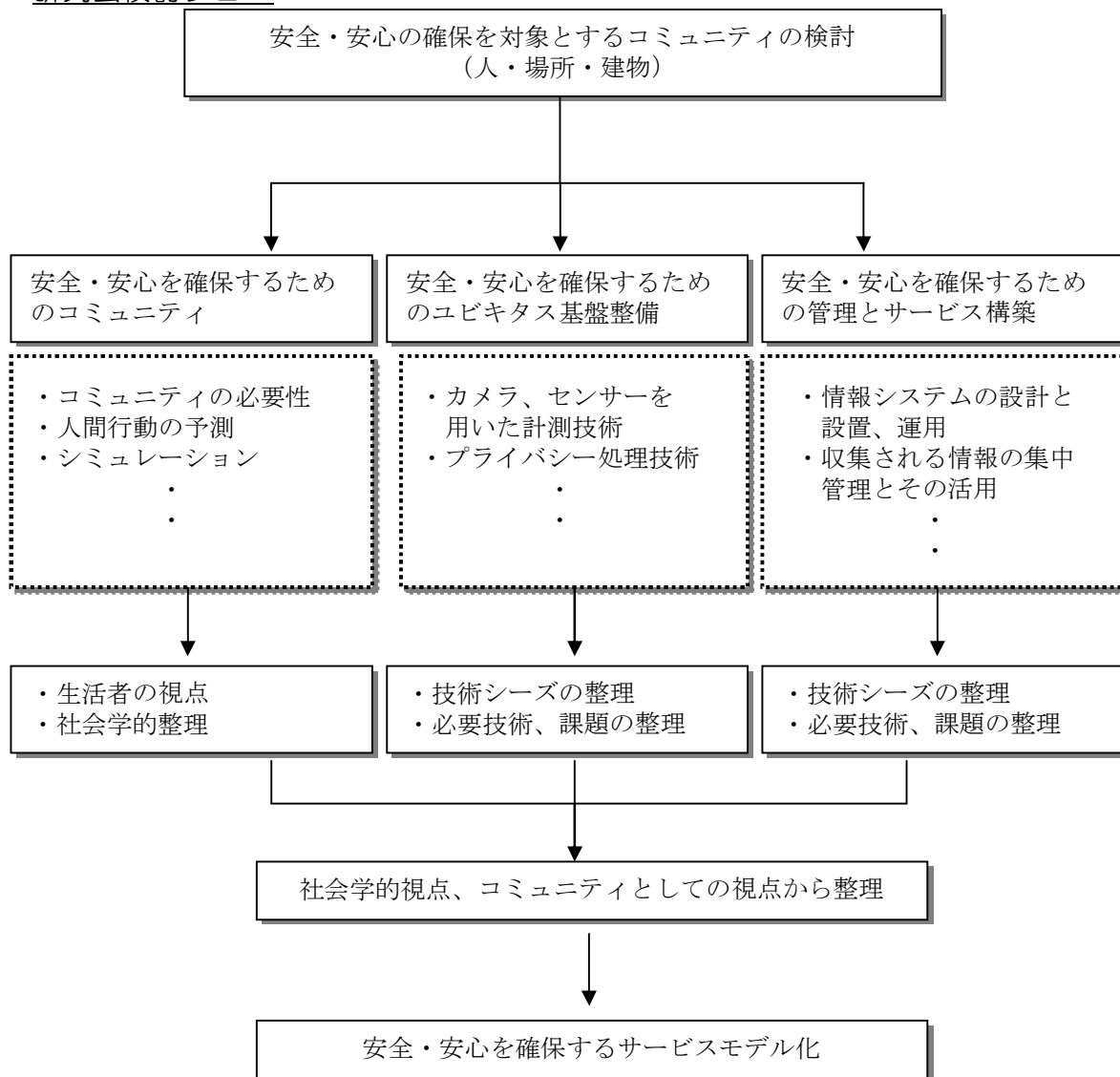
主な研究内容

- ・ 安心、安全を確保するコミュニティに関する研究：
 - 人：独居高齢者、通学児童
 - 場所：公園、繁華街
 - 建物：家、介護施設、病院
- ・ 安心、安全を確保するために必要な支援の調査：
 - 人的支援：コミュニティの必要性、人間行動の予測、シミュレーション
 - センサ設置権限：情報システムの設計と設置、運用、
収集される情報の集中管理とその利用
- ・ 安心、安全を確保するために必要な技術、及び情報システムの調査：
 - 技術的支援：カメラ、センサを用いた計測技術、プライバシー処理技術
- ・ 安心、安全を確保するためのサービスモデル：
 - ビジネスモデル：サービスサイエンス的視点、心理的視点、コミュニティ的視点

研究会の進め方

- ・ 本研究会のメンバーの皆様が興味を持たれている最新のトピックスに関する講演会および討論会を開催し、暮らしにおける安心安全の確立に有用な情報を提供します。
- ・ 暮らしにおける安心安全の確立に必要とされる新たな研究課題を検討し、共同研究体制を探索するとともに研究プロジェクトへの提案を行います。

研究会検討フロー



暮らしの安全・安心商品、サービスの提供

【プロジェクト検討】

日常生活圏を対象とした情報システムと人間の連携による安心安全の確保について公的資金を活用したプロジェクトを検討する。

具体的には、新しい地域コミュニティの概念形成として、

- ICTを介して実世界での親近性を増す
- ICTを介して共通の話題を持つ
- ICTを介して近所の人を知る
- ICTを介して地域社会に溶け込む
- ICTを利用して時間を越える・・・・・・等々を検討することによって

新たな安心安全の重要な基盤ができると考えられる。この様な考えに基づいた実証研究プロジェクトを検討する。



【体制】（敬称略・順不同）

主査：美濃 導彦 京都大学 学術情報メディアセンター長 教授
学識委員：

馬場口 登	大阪大学大学院 工学研究科	教授
奥野 卓司	関西学院大学 社会学部	教授
富田 英典	関西大学 社会学部	教授
上田 博唯	京都産業大学 コンピュータ理工学部 インテリジェントシステム学科	教授
角所 考	関西学院大学 理工学部 人間システム工学科	教授
村瀬 敬子	佛教大学 社会学部	講師
藤本 憲一	武庫川女子大学 生活環境学部	准教授
鰐坂 恒夫	和歌山大学 システム工学部	教授

H20 年度参画企業：50音順

エフアイエス株式会社、大阪ガス株式会社、沖電気工業株式会社、
関西電力株式会社、株式会社きんでん、コニカミノルタテクノロジーズセンター
新コスモス電機株式会社、住友電気工業株式会社、ナルックス株式会社、
西日本電信電話株式会社、日本電気株式会社、パナソニック株式会社、
三菱電機株式会社

暮らしの安全安心研究会活動 概要報告

研究会は、これまでに6回開催し、それぞれ、テーマ別話題提供と企業の技術や開発事例のご紹介、及び話題提供後の討論を行うと共に、交流会で意見交換を通じて、講師、学識委員と共通課題について活発なディスカッションを行った。

とりわけ研究会では多くの社会学の先生方にご指導頂き、社会学からの視点による分析と、毎回活発なディスカッションを頂いた。

(1) 第1回研究会

日 時：平成20年2月13日(水) 15:30～18:30

場 所：大阪科学技術センター 7階 702号室

議 題：

- ①開会挨拶
- ②研究会趣旨説明
- ③研究会委員の紹介
- ④学識委員の研究ご紹介
- ⑤話題提供、質疑応答

京都大学 学術情報メディアセンター

センター長、教授 美濃導彦氏（研究会主査）

(2) 第2回研究会

日 時：平成20年4月21日(月) 16:00～18:30

場 所：大阪科学技術センター 7階 702号室

議 題：

- ①開会
- ②話題提供
「災害復興とコミュニティ再生」

関西学院大学 社会学部 教授 宮原浩二郎先生

（同学防災研究所 前所長）

- ③質疑応答・総合討論
- ④研究会の進め方

(3) 第3回研究会

日 時：平成20年5月26日(月) 15:00～18:30

場 所：大阪科学技術センター 7階 702号室

議 題：

- ①開会
- ②話題提供
- ③ユビキタスホームについて
（ゆかりプロジェクトのご紹介）

京都大学 学術情報メディアセンター センター長、教授 美濃導彦先生
京都産業大学 コンピュータ理工学部 インテリジェントシステム学科
教授 上田博唯先生

- ④企業技術紹介
コニカミノルタテクノロジーセンター
- ⑤総合討論

(4) 第4回研究会

日 時：平成20年6月30日(月) 15:00～18:30

場 所：大阪科学技術センター 7階 702号室

議 題：

- ①開会
- ②話題提供
「人類未到の超高齢化社会医療システム設計
～ ITは役に立つのか?～」
日本医科大学 医療管理学教室 教授 長谷川 敏彦 先生
- ③企業技術紹介
エフアイエス株式会社 営業開発第一グループ
マネージャー 松本晋一氏
- ④総合討論

(5) 第5回研究会

日 時：平成20年10月20日(月) 15:00～18:30

場 所：大阪科学技術センター 7階 702号室

議 題：

- ①開会
- ②話題提供・質疑応答(15:05～16:05)
「フィンランドにおけるヘルスケアICTを用いた暮らしの安全安心」
国立大学法人熊本大学大学院 社会文化研究科 准教授 石原明子氏
- ③話題提供・質疑応答(16:05～17:05)
「シンビオティック社会への進展と安心・
安全を支える新たな情報通信技術」
日本電気株式会社 C&C イノベーション研究所 所長 山田敬嗣氏
- ④総合討論 (17:05～17:30)

(6) 第6回研究会

日 時：平成20年12月1日(月) 15:00～18:30

場 所：大阪科学技術センター 7階 702号室

議 題：

- ①「 開会

②話題提供・質疑応答

「危険と不安の隔離と冗長度の減少」

佛教大学 社会学部 教授 高田公理氏

③話題提供・質疑応答

総務省プロジェクト紹介

「街角見守りセンサーシステムの事例紹介と

ユビキタスプロジェクトの展開」

パナソニック システムソリューションズ社

ユビキタスプロジェクト推進室 室長 栗原紹弘氏

ユビキタスプロジェクト推進室 担当課長 山中寛幸氏

④総合討論

(7)第7回研究会

日 時：平成21年2月25日（水） 15：00～17：30

場 所：大阪科学技術センター 7階 702号室

議 題：

①開会挨拶

②話題提供・質疑応答

「鉄道における安全・安心についての取組み」

近畿日本鉄道株式会社 安全環境推進部長 内藤博行氏

③企業事例紹介・質疑応答

西日本電信電話株式会社

サービスマネジメント部 サービス戦略部門

総括担当 三苫 博幸氏

④総合討論

インターネット・ホームページ（公開）の設置

関西安全・安心を支える科学技術推進会議「暮らしの安全安心研究会」専用ホームページを作成し、研究会開催情報を中心に公開し、研究会活動概要についても紹介するなど、対外的なPRを行った。

研究会のご案内を、ホームページを通じて、お知らせするなど、会員の方々へのお知らせや、研究会開催予告など、お知らせページとして活用することが出来た。

<http://www.ostec-tec.info/01-3/index.php>





メールによる制度情報の発信

文部科学省、総務省等の安全安心に関する施策、制度、公募情報をメールや研究会の参考資料として配付、発信し、情報を共有した。